

# 家庭教育支援だより

【家庭教育支援だよりとしてリニューアルします】これまで発行してきた「家庭教育サポート企業だより」は、この度、「家庭教育支援だより」としてリニューアルしました。

家庭教育サポート企業の取組のほか、子どもの望ましい生活習慣・学習習慣等に関する情報や、家族や子どもが参加できる体験活動・イベントの紹介、地域で活動する読み聞かせグループや家庭教育支援チーム、ボランティア団体の活動紹介など、幅広く家庭教育に関する情報を提供するとともに、これまで同様に家庭教育サポート企業と北海道教育委員会をつなぐツールの1つとして発行して参りますので今後もよろしくをお願いします。

## 《家庭教育サポート企業の取組》 檜山管内発

### 職業体験・実習の受入～有限会社小川食品（今金町・平成23年度締結）～

今金町で豆腐製造業を営む小川食品は、商品が道内の百貨店や有名スーパーでも販売され、「北海道・東北地区豆腐品評会」で金賞を受賞するなど、味と品質の高さは折り紙付きの大正10年創業の歴史ある企業です。

同企業では、町内の小・中学校や特別支援学校の職業体験・実習の受入に積極的に協力しています。特に、今金高等養護学校からは、今まで延べ20名を超える生徒を受け入れており、生徒は、豆腐製品の加工補助、ラベリング、パッキングや発送補助等の作業をとおして、「働く力」や「働くことの意義」はもとより、「地産地消の重要性」



【今金高等養護学校の生徒の実習の様子】  
や「製品の安全性へのこだわり」、「地域への愛着心」などを学んでいます。



【今金高等養護学校の生徒の実習の様子】

小川宏社長は、「今金町産の食材を使った商品の製造過程を学んだり、食べたりすることで、地元への愛着を持ってほしい。また、食を通して都会に出ても今金町の魅力を発信してもらえれば。」と話していました。

## 地域での学び・活動の紹介

### ☆ 空知親学セミナーの取組 ☆

空知教育局では、管内の保護者や地域のみなさんを対象に、子どもたちが学びに向き合う前提となる望ましい生活習慣の定着について意識を高めるため、「空知親学セミナー」を行っています。市町の教育委員会やPTA、学校等の要望に応じて内容を構成し、家庭教育全般に関わる講話を実施しています。

参加者からは「大人の役割について考える良い機会になりました」、「スマホ利用に関して、まずは大人が模範となるような使い方を心掛けたいと思います」などの声が聞かれ、保護者の学びの再確認の場になっています。



### 空知管内発／上川管内発

### ☆ 「旭川おとな食堂」の取組 ☆

「旭川おとな食堂」は、旭川及び旭川近郊で子ども食堂等を運営している人たち同士や、それらの活動に興味をもっている人たちを結び、地域で繋がる手伝いをしている市民団体です。

また、子ども食堂に限らず、学習支援の場やプレーパーク等、子どもの多様な居場所づくりを促進し、子どもの居場所が地域に根付き、安定した運営ができるようサポートをしています。

代表の岡本千晴さんは、「子どもの居場所、親子の居場所の大切さを一人でも多くの方に知ってもらいたい」「地域の中で人と人とが繋がり、支え合える関係づくりを大切にしたい」という思いをもって活動しています。

# 《共生社会の構築にむけて ～障がい者の生涯学習の充実へ～》

【誰もが一緒に活動できる環境づくり】趣味や教養に親しみ、生きがいや楽しみを持つことは生活を豊かにするもので、障がいのある方にとってもとても大切なことです。

障がいのある方にとっては、学校卒業後、就労や生活の自立などが重要視されがちですが、障がいのあるなしに関わらず誰もが、心豊かに人生を過ごすための余暇活動など生涯学習活動の充実が図られなくてはなりません。

そのため、誰もが一緒に生涯学習活動ができる環境を実現しようと北海道教育委員会では、共生社会の実現に向けて取り組んでいます。



## ☆ パラスポーツを通して多様性を考える ☆ 釧路管内発

【釧路教育局とネパール厚岸が連携】多様性を認め合う社会づくりの醸成を目指し「エンジョイ！パラスポ（障害者の生涯学習体制構築モデル事業）」を、サン・アビリティーズくしろ（釧路市障害者教養文化体育施設）で開催しました。



【ボッチャの様子】

参加者は、社会福祉法人釧路市社会福祉協議会や車いすバスケットチーム『釧路フリーズ』など地域団体による指導のもと、ボッチャや車いすバスケットを楽しみました。

参加者からは、「他のパラスポーツにも興味が湧いた」「障がいについて知ることが大切だと思った」「障がいを、個々の特性と捉えることが大切だと感じた」などの感想が聞かれ、パラスポーツや障がいについての理解を深めました。

釧路教育局では、今後も研修会を開くなど、障がい者の生涯学習を支える体制づくりを進めていきます。

## 〈「家庭教育支援者養成研修」が行われました〉

【社会教育としての家庭教育支援】父親ネットワーク北海道事務局長の吉岡亜希子氏（北海道文教大学教授）を講師に、家庭教育ナビゲーターや家庭教育サポート企業関係者等、道内で家庭教育支援に関わる方々が参加し、令和5年11月14日にオンラインで実施しました。

吉岡氏からは、「家庭教育支援の取組は、地域作りにもつながる社会教育であり、今地域で求められている活動である」とのお話がありました。

遠別町、旭川市、恵庭市の取組事例の発表などから、道内の状況を把握するとともに、参加者の交流や学びを深めることができました。



【吉岡氏の講義の様子】

## 〈教育局社会教育指導班へのE-mailの登録をお願いします〉

今後、家庭教育支援だよりは、Webへの掲載やE-mailで送付します。ついては、改めて、各管内の教育局社会教育指導班へE-mailアドレスの連絡をお願いします。本たよりのほか、タイムリーに情報提供が可能になります。また、本たよりは、次年度から8、10、12、2月末日を目処に以下のURLに掲載していますので、お気に入りへの登録もしていただければ幸いです。

〔掲載URL <https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/support-kigyo.html>〕



【発行元】北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

住所：札幌市中央区北3条西7丁目

電話：011-204-5994

メール：[kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp)

HP：[https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/katei\\_index.html](https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssg/katei_index.html)

